

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公開番号】特開2013-123843(P2013-123843A)

【公開日】平成25年6月24日(2013.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-033

【出願番号】特願2011-273524(P2011-273524)

【国際特許分類】

B 4 3 K 8/02 (2006.01)

【F I】

B 4 3 K 8/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月3日(2013.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

バルブ収装筒2内には、その先端側から順に、インク貯留部材5とバルブユニットケース6とが装填される。インク貯留部材5は、基板7の中央に延設されて芯4の後半部が摺動可能に挿入される芯挿入筒8と、芯挿入筒8の外周面にその全長に亘って狭間隔置きに配設される円形の環状板9とから成っていて(図6、7参照)、後述するようにしてインク貯留部材5に導入されたインクが、各環状板9間の隙間とバルブ収装筒2の内周面とに囲まれるインク貯留空間11を満たすように構成される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

上記構成において、インクタンク軸1内のインクは、芯4を下向きにすることにより、自重で蓋部材16のインク通流孔17を自由に通り抜けてバルブユニットケース6内に流入し、そこを満たす。このバルブユニットケース6内に入り込んだインクは、芯4がバルブ収装筒2内に押し込まれてインク供出口12が開放されるまで、そこに留まる。そして、芯4がバルブ収装筒2内に押し込まれてインク供出口12が開放されると同時にインク貯留部材5内に流入し(図3)、流入したインクは、上述したように、環状板9間の狭い隙間とバルブ収装筒2の内周面との間のインク貯留空間11を充填すると共に、隨時芯4に染み込んでいく。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

1 インクタンク軸

2 バルブ収装筒

3 縮径部

4 芯
5 インク貯留部材
6 バルブユニットケース
7 基板
8 芯挿入筒
9 環状板
1 0 縦溝
1 1 インク貯留空間
1 2 インク供出口
1 3 弁体
1 4 開閉ピース
1 4 a 支持部
1 4 b 鎖部
1 4 c ストップバー
1 5 リターンスプリング
1 6 蓋部材
1 7 インク通流孔
1 8 芯挿入孔
1 9 フランジ